

必ずお読みください

シマウマ ミラー付壁収納

(スリッパ収納プラン・小物収納プラン)

取扱説明書

発売元  **JK GROUP** 〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー11F
TEL 03-5534-3716 FAX 03-5534-3856

●製品に関するお問い合わせはこちらまで 製造元  **南海プライウッド株式会社**
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
営業開発グループ	TEL(087)825-3651	FAX(087)806-3640

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。

間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※)を負うことが想定される危害・損害の程度を示す。

(※)傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、などをさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



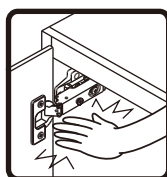
「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意



●製品にのったり、ぶら下がったりしない。

扉や棚板、パイプにのったり、ぶら下がったりしないでください。破損・落下してケガをするおそれがあります。



●丁番などの可動部には手を入れない。

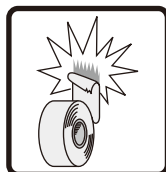
丁番などの可動部には手を入れないでください。手をはさんでケガをするおそれがあります。



●耐荷重の目安値よりも重いものをのせない。

重量物をのせると、棚板やパイプが変形・破損・落下し、ケガをするおそれがあります。(裏面「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い



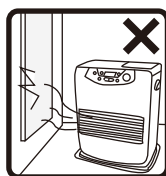
●粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。

製品に粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)を貼らないでください。表面化粧がはがれるおそれがあります。



●製品に直接水をかけない。

製品に直接水をかけないでください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。



●暖房器具などを近づけない。

暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り・割れ・変色の原因になります。

お手入れ



●日常のお手入れ方法

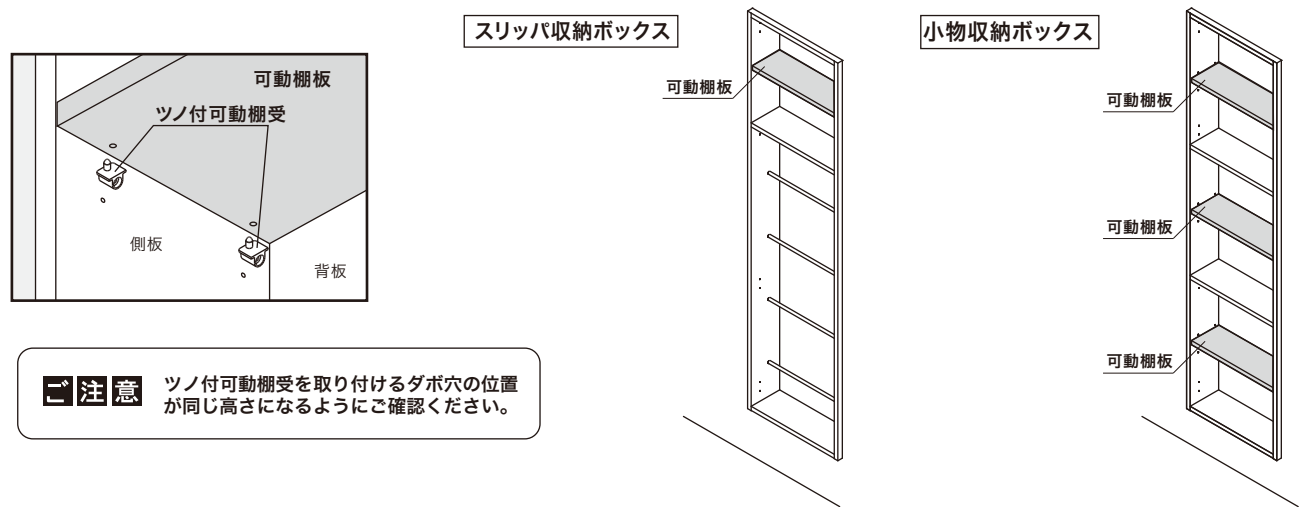
乾いた柔らかい布で乾拭きする。

●汚れがひどい場合

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、よく乾燥させる。

可動棚板の取り付け・取り外し

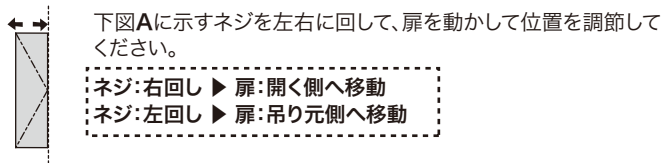
可動棚板は取り外し可能です。取り付ける際はツノ付可動棚受をダボ穴へ下図のように差し込み、可動棚板を載せます。また、取り外す際は可動棚板を外し、ツノ付可動棚受を外します。



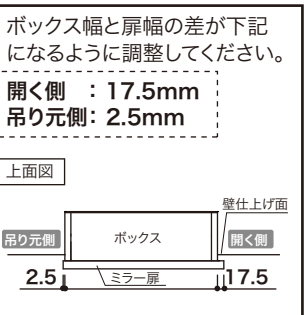
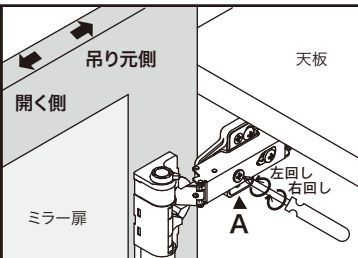
ご注意 ツノ付可動棚受を取り付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

ミラー扉の調節

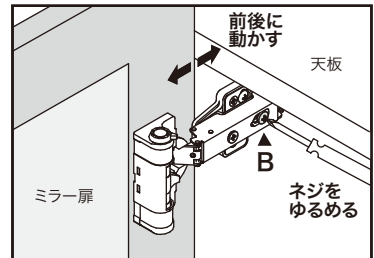
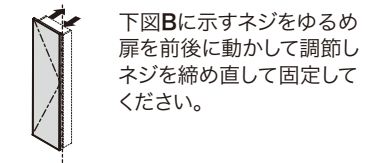
①扉のゆがみ・左右の位置を調節



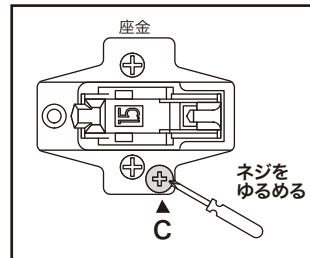
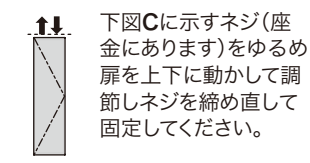
ネジ:右回し ▶ 扉:開く側へ移動
ネジ:左回し ▶ 扉:吊り元側へ移動



②扉とボックスの隙間を調節



③扉の上下を調節



ご注意 扉の調節後、必ず2～3回テスト開閉し、扉が確実に閉まっていることをご確認ください。

耐荷重の目安値・許容収納量

下記は耐荷重の目安値であり保証値ではありません。

パーツ	耐荷重の目安値
固定棚板	10kg
可動棚板	10kg

パーツ	許容収納量
アルミパイプ	大人用スリッパ 2足/本

必ずお読みください

シマウマ ミラー付壁収納

(スリッパ収納プラン・小物収納プラン)

施工説明書

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合には当社での保証はしかねますのでご注意ください。

取扱上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



そり・ねじれ厳禁

躯体に使用する木材は乾燥材で通直な物を選んでご使用ください。

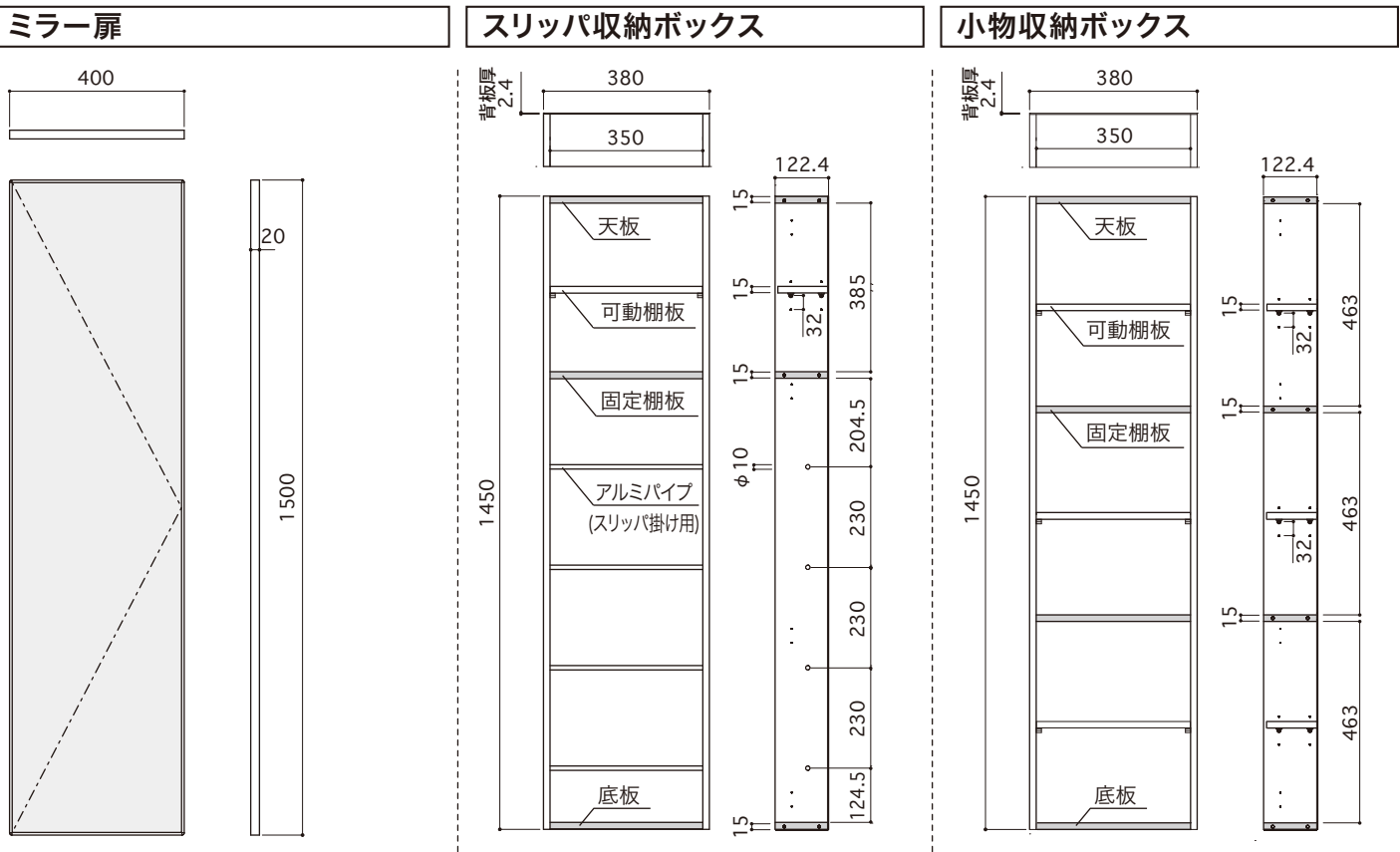


キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。

詳細図

(単位:mm)



施工に必要な道具

- 電動ドライバー
- プラスドライバー
- プラスチックハンマー
- フィニッシュネイラーまたはハンマー

施工に必要な材料

- フィニッシュネイル(L=35)または釘

部材・部品一覧表

(単位:mm)

部品には万全を期しておりますが、開梱時には下記の部材・部品一覧表を参考に部材・部品の数量をお確かめください。

部材	名称		入数
	名称	入数	
ミラー扉	ミラー扉	1	1
	D400×H1500×T20		

スリッパ収納ボックス			
部材		部品	
名称	入数	名称	入数
天板、底板、固定棚板 〔共通部材〕 (木ダボ付き)	3	ツノ付可動棚受	4
		ピン	4
D119.5×W350×T15			
可動棚板	1	スライドヒンジ・座金	各4
D116×W349×T15		スライドヒンジ 座金	
側板	各1	ダンパー	2
D120×H1450×T15			
背板	1	システムビス L=13.5 (座金取り付け用)	8
D380×H1450×T2.4			
アルミパイプ	4	アルミ扉用丁番ビス L=10	8
φ10×L370			
		ビスL=51 (ビスキャップセット付)	12
		接着剤	1

小物収納ボックス			
部材		部品	
名称	入数	名称	入数
天板、底板、固定棚板 〔共通部材〕 (木ダボ付き)	4	ツノ付可動棚受	12
		ピン	12
D119.5×W350×T15			
可動棚板	3	スライドヒンジ・座金	各4
D116×W349×T15		スライドヒンジ 座金	
側板	各1	ダンパー	2
D120×H1450×T15			
背板	1	システムビス L=13.5 (座金取り付け用)	8
D380×H1450×T2.4			
		アルミ扉用丁番ビス L=10	8
		ビスL=51 (ビスキャップセット付)	12
		接着剤	1

発散区分表示資料

製品名:シマウマ ミラー付壁収納

製造者名称:南海プライウッド(株)

問合せ先:品質保証グループ

087-894-8025

発散区分:F☆☆☆☆

住宅部品表示ガイドラインによる

ロット番号:製品梱包に記載

-ホルムアルデヒド発散材料区分詳細-

[内装仕上部分] MDF :F☆☆☆☆
接着剤 :F☆☆☆☆

[下地部分] MDF :F☆☆☆☆
合板 :F☆☆☆☆
接着剤 :F☆☆☆☆

ご注意 この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

施工前の準備

本体設置場所に下地枠(現場調達)を取り付けます。
寸法は右図を参照してください。

注意

- 下地枠の垂直・水平を下げ振りや水準器でご確認ください。
- 「据え置き」「直付け」での施工は行なわないでください。

※床面からの設置高さ400mmは推奨の位置です。
ミラー扉の高さ(1500)を考え、使用しやすい位置に製品がくるように、床面から上げる高さを調整してください。

[1] 本体の組み立て

平行な場所に側板を置き、ダボ穴に同梱の接着剤を塗布し天板、固定棚板、底板を当て木をして挿入してください。もう一方の側板も同様に、挿入してください。

スリッパ収納ボックス

小物収納ボックス

注意

本体の組み立てには必ず当て木を使用してください。

[2] 背板の取り付け

背板を本体(側板、天板、固定棚板、底板部分)にフィニッシュネイル(現場調達)、または釘(現場調達)を本体背側から打ち、固定します。
(※フィニッシュネイルは100mmピッチ以内、釘は200mmピッチ以内で施工を行なってください。)

注意

エア圧が強すぎたり、フィニッシュネイルが深く入りすぎると、フィニッシュネイルが背板を貫通し、背板が取り付けられない場合があります。
必ず背板取り付け前に、フィニッシュネイラーのエア圧、深さの調節を行ってください。

[3] 本体の設置

①手掛かり部分を確保するため、本体を壁仕上面より13mm以上出して設置します。

注意

ボックス組立時の接着剤が乾燥していることをご確認ください。

※右図はスリッパ収納ボックスです。
スリッパ収納ボックスはアルミパイプを下にして設置してください。
※小物収納ボックスは上下対象になります。

②ボックス本体内部よりビス(L=51)で下地枠に固定し、ビスキャップを取り付けます。

○ = ビス(L=51)取り付け位置

※下穴はありません。

側板(左)(右) 各6カ所 計12カ所

ビス固定位置

【正面図】

【断面図】

[4] 本体へ可動棚板を設置

ツノ付可動棚受本体にピンを差し込んだ後、可動棚受をボックスのダボ穴へ下図のとおり差し込み、棚受のツノ部分に可動棚板の穴をはめ込むように乗せます。

注意

使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

スリッパ収納ボックス

小物収納ボックス

[5] ミラー扉設置準備

※ミラー扉は反転することで開閉方向(左開き/右開き)を自由に選択できます。

①ミラー扉裏面のカップ穴にスライドヒンジを付属のアルミ扉用丁番ビス(L=10)で取り付けした後、上下の丁番にダンパーを取り付けます。

②扉の開閉方向を決定し、開閉しない側の側板に座金を取り付けます。

注意

●座金の取り付け方向(上記図参照)を必ずご確認ください。逆に取り付けると扉を付けることが出来ませんのでご注意ください。
●座金を取り付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。

[6] 本体へミラー扉を設置

スライドヒンジを座金にはめ込みます。

正しくはめ込むとカチッと音がします。

[7] ミラー扉の位置を調節

ミラー扉取り付け後、位置の調節を行います。(下記参照)

①扉のゆがみ・左右の位置を調節

右図Aに示すネジを左右に回して、扉の左右の位置を調節してください。

②扉とボックスのすき間を調節

右図Bに示すネジをゆるめ扉を前後に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。

③扉の上下を調節

右図Cに示すネジ(座金にあります)をゆるめ扉を上下に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。

下図のように、ボックスと扉の差が開く側:17.5mm、吊り元側:2.5mmとなるよう調整してください。

【上面図】

【完成】

扉の調整後必ず2～3回開閉し、扉が確実に閉まっていることをご確認ください。

※施工手順【2】【3】【5】の図はスリッパ収納ボックスを表記していますが、小物収納ボックスも同様の施工を行なってください。